

平成 28 年 6 月 29 日
島根県立大学 浜田キャンパス
担当：地域連携課 山本・河部
電話：0855-24-2396

平成 28 年度新設科目「地域課題総合理解」開講について

文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」において、平成 28 年度より、新設科目「地域課題総合理解」（集中講義形式 全 8 コマ）を開講しますのでお知らせいたします。

この科目は「しまね地域マイスター」認定制度における基礎科目（必修）の位置づけとなっております。平成 29 年度からは浜田キャンパス、出雲キャンパスの科目として開講されますが、平成 28 年度については、浜田キャンパスにおけるの先行開講となります。

記

1 講義概要

島根県が抱える課題について、総合政策学部総合政策学科と看護学部看護学科の学生が一堂に会し演習方式で議論し、報告することを通じ、ひとつの地域課題に対して学際的に考えることの必要性を理解するとともに、その考え方を学習する。

2 講義日程

日程：7 月 2 日（土）10:30 ～ 7 月 3 日（日）15:50

◆1 コマ目～6 コマ目

議論及び資料作成：事前の学習、レポートをもとに、異なる学部の視点によるディスカッションを行い、報告会に向けて、グループとしてのレポート（報告資料）を作成する。

◆7 コマ目～8 コマ目

グループで作成した報告資料をもとに報告する。

※当日のタイムスケジュールについては、別紙をご覧ください。

3 講義会場

島根県立青少年の家（サン・レイク） 第 1 研修室
（島根県出雲市小境町 1991-2）

4 受講予定学生

浜田キャンパス 2 年生 14 名、出雲キャンパス 3 年生 5 名
（出雲キャンパスの学生はオブザーバー参加）

《H28 年度テーマと内容》

【テーマ】

「島根県における備災・減災を目指した健康課題とその対策」

【内容】

災害が発生すると、けが人だけでなく持病を抱えた人にいかに対応するかが問題となります。特に、自然災害では道路の寸断により孤立する人々が発生したり、医療施設にけが人や病人が集中することも予想されます。また、そうした緊急・異常事態が発生した時でも、持病を持つ人の受診機会の確保も問題です。

本講義では、特に医療機関の整備が十分とは言い難い島根県において、災害に対していかに備えるか、また、たとえ災害が起こったとしてもいかにその影響を小さくするか、その対策を健康課題の観点から検討します。

講義当日までに、受講生は指示された課題で①現在、島根県における医療の課題とは何なのか整理したうえで、②各機関・行政では、それに対してどのように向き合っているのか（備災・減災にむけた健康課題とその対策）把握します。そして、講義当日に、①・②の結果を持ち寄って情報を集約したうえで、③いくつかのテーマによってグループ分けし、グループとしての考えを発表します。

課題

以下のキーワードを用いて、講義テーマに即した内容をまとめてください。その際、すべてのキーワードを網羅する必要はありませんが、可能な限り網羅的に把握してください。

健康課題、備災・減災、孤立、広域・医療機関どうしの連携、
限られた資源（人的・財政的）、自助・互助・共助・公助

《タイムスケジュール》

1日目 (7/2)	10:30~12:00	アイスブレイク/グループワーク
	(12:00~13:00 昼食)	
	13:00~16:10	グループワーク
2日目 (7/3)	8:30~ 11:30	グループワーク
	※9:20~10:00に中間報告を実施	
	(11:30~12:30 昼食)	
	12:30~15:30	最終プレゼン